高崎市議会
新風会報
SHINPU KAIHO
令和５年秋号

発行所　高崎市議会新風会広報局
発行責任　新風会広報局
〒370-8501　群馬県高崎市高松町35番地1
新風会ホームページ
http://www.shinpukai.com/

9月定例会のご報告

令和４年度決算を認定

9月7日から27日までの21日間、令和5年度第4回定例会が行われました。本定例会は令和4年度決算の認定議案が主な議題でした。

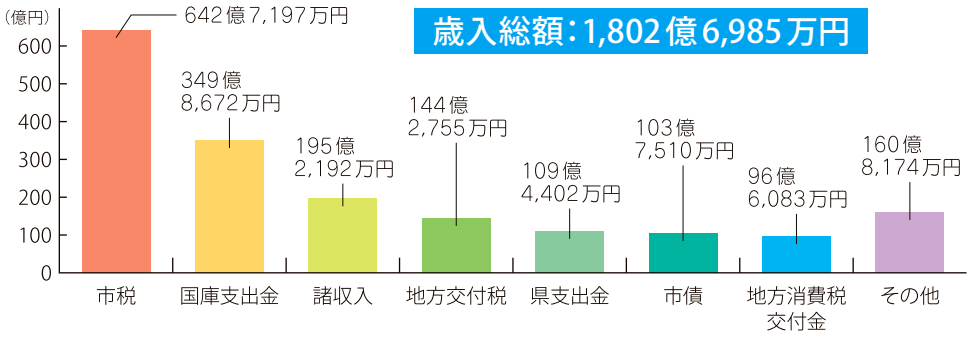
報告2件、決算認定議案、補正予算議案、教育長任命同意議案、議員提出議案など22件が上程され、すべて認定・可決・同意されました。

また、意見書案1件も可決され、請願3件は不採択となりました。

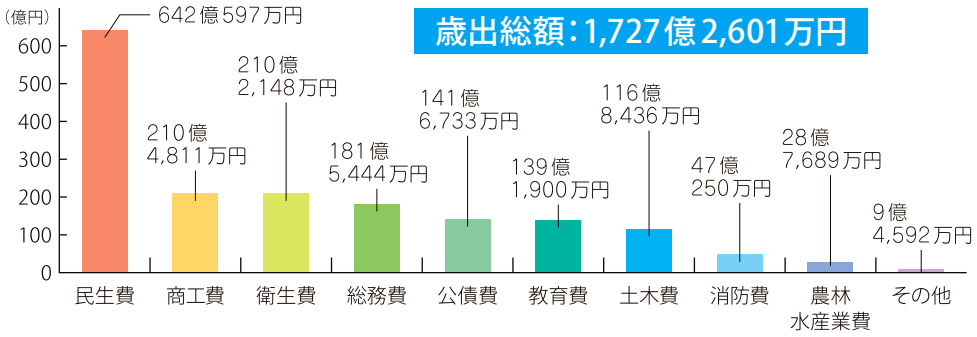
なお、開会の冒頭で、去る6月30日にご逝去された前教育長の飯野眞幸様に出席者全員で黙祷を捧げました。また、最終日には新教育長として、小林良江氏が承認されました。

一般会計決算報告

歳入総額：1,802億6,985万円



歳出総額：1,727億2,601万円



特別会計

会計名	歳入	歳出
国民健康保険事業	355億3,351万円	351億4,272万円
介護保険	369億5,142万円	361億　188万円
牛伏ドリームセンター事業	1億1,222万円	9630万円
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	1億1,304万円	2,141万円
後期高齢者医療	54億4,805万円	54億　751万円
農業集落排水事業	1億4,742万円	1億4,662万円

企業会計

会計名	収益的収入（歳入）	収益的支出（歳出）
水道事業	71億3,536万円	61億9,404万円
簡易水道	1億　420万円	1億4,204万円
公共下水道事業	81億8,792万円	70億9,297万円

賛成討論

根岸 赴夫

定例会の最終日9月27日に、新風会を代表して賛成討論を行いました。上程された議案のうち、議案第95号「令和4年度高崎市一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について」および議案第96号「令和4年度高崎市水道事業会計及び高崎市公共下水道事業会計利益の処分及び決算認定について」の2議案に対し、詳しく理由を述べたうえで、賛成する旨を表明する討論を行いました。

高崎市監査委員の選任同意

渡辺 幹治

5月の臨時会で選任された監査委員
○ 渡辺 幹治 議員

令和４年度に実施した主な事業

教育と人づくり
- 全小中学校への英語指導助手の配置 …… 3億9,179万円
- ヤングケアラー SOSサービス事業 …… 1,294万円
- 小中学校のトイレ洋式化、体育館空調設備設置 …… 4億　989万円

産業の振興
- 高崎ブランド・シティ・プロモーション …… 6,000万円
- 中小企業就職奨励金 …… 2,650万円
- 職場環境改善助成 …… 1億9,226万円

文化と歴史を活かした創造的な高崎
- 高崎光のページェント …… 4,200万円
- 高崎市民スポーツパーク（仮称）整備事業（繰越含む） …… 8,411万円
- 上野国多胡郡正倉跡保存整備事業 …… 4,413万円

やさしい眼差しに満ちた市政
- 子育てSOSサービス事業 …… 3,101万円
- おとしよりぐるりんタクシー運行 …… 2億4,166万円
- 24時間365日の市内小児救急医療体制 …… 4,349万円

新型コロナウイルス感染症への対策
- 医療提供体制整備に対する支援 …… 8億5,731万円
- 新型コロナウイルス病原体検査費の助成 …… 5億4,084万円
- 感染症入院患者医療費の助成 …… 2億9,794万円

合併した地域の個性を活かした魅力づくり
- 新町駅バリアフリートイレ設置 …… 989万円
- 榛名山ヒルクライムin高崎開催 …… 3,100万円
- 支所地域道路維持補修費 …… 1億8,191万円

安心・安全な地域社会づくり
- 緊急排水ポンプ設置（繰越含む） …… 1億6,114万円
- 洪水浸水ハザードマップ改定 …… 9,460万円
- 交通安全施設整備 …… 1億5,083万円

大勢の人が歩き、にぎわう街
- 高崎市民商品券配布 …… 19億2,297万円
- 豊岡経大大橋（仮称）概略設計 …… 2,752万円
- 高崎芸術劇場・高崎アリーナ企画誘致事業 …… 5,795万円

高崎市のLINE公式アカウントがスタート！

9月1日から、高崎市のLINE公式アカウントが開始しました。イベント・講座や子育ての情報から防災などの緊急情報まで、さまざまな情報を素早くお届けします。ぜひ、右記２次元コードから友だち追加をお願いします。

新風会からのごあいさつ

日頃より新風会の活動に対してご理解とご支援、また、ご指導を賜りまして誠にありがとうございます。

今年の夏の平均気温は、気象庁によると1898年に統計を開始して以来最も暑い夏だったとのことで、本当に暑かったというのが実感でした。市民の皆様には、変わらずお元気でいてくだされば幸いです。

国連のアントニオ・グテレス事務総長が「温暖化の時代は終わり、地球沸騰の時代が来た」と表現したことが、日本だけでなく地球全体を覆う極めて深刻な現状であることを表しています。私たちは、新型コロナウイルス感染症との闘いと合わせて対応していかなくてはならないと考えます。

また、7月23日に群馬県知事選挙が行われ、山本一太知事が2回目の当選を果たしました。新風会としても所属議員が全力で応援し、当選の結果が得られたことは、ひとえに皆様のお陰と感謝しております。しかし、投票率の低下に歯止めがかからないことを引き続き憂慮しています。市民の皆様に、政治に対する期待と関心を寄せていただけるよう、一層努力しなければならないと考えています。

これからも新風会の19人の議員は、市民の皆様が幸せに暮らせるよう、また、市政全般にわたりご期待に沿えるように全力で取り組んでまいります。どうぞ、今後ともよろしくお願いいたします。

高崎工業団地造成組合議会

6月30日、4月の統一選挙後初めての臨時会が開かれて組合議会が編成され、正副議長が選出されました。

議長　柴田 和正

副議長　丸山 和久

議員　石川 徹

高崎市消防隊総合訓練

9月10日、もてなし広場で令和5年度高崎市消防隊総合訓練が行われました。出場者は、高崎市等広域消防局、高崎市消防団、高崎市女性防火クラブ、群馬県防災航空隊、国立病院機構高崎総合医療センタードクターカーから集まった総勢520人でした。

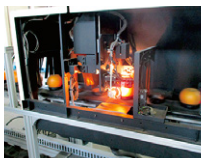
世界各地で火災、水害、大地震などが頻発している中、国内では、記録的な暑い夏となり、台風に伴う線状降水帯の発生が多発し、土砂崩れや床下・床上浸水で大きな被害が発生した地域がありました。本市の雨水排水施設は1時間当たり60ミリの降雨に対応できるように設計されているそうですが、今年は日本各地で1時間当たり100ミリを超える雨量も計測されています。

災害はいつ起こるかわかりません。自主防災組織も整備されていますが、いざというときには、広域消防局、消防団などの組織力が頼りです。今回は、新型コロナの影響で、5年ぶりの開催でしたが、高い使命感と緊張感に満ちた充実した訓練を披露してくれたことを、大変心強く感じました。これからも市民の安心・安全を維持するために取り組んでいただきますよう、心からお願いいたします。

今回の訓練内容は、小隊訓練、遠距離中継送水訓練、高さ30mの10階建ての建物に対応できるはしご消防車などによる中高層建物火災対応訓練（写真）、一斉放水訓練でした。

また、こども広場では、来場した大勢の子どもたちが子ども用防火服を着て写真撮影などを楽しんでいました。

ロマンあふれる「はるな梨」の歴史と最新技術



本市には魅力的な果物があります。なし、もも、ぶどう、プラム…。どれも私たちの舌を楽しませ、季節の訪れを教えてくれます。特に、はるな梨の歴史は長く、150年ほどともいわれています。そのルーツは、ある梨園の樹齢150年の「赤穂」という一本の木。この木から「八雲」「菊水」「豊水」といった聞きなじみの梨へと進化・改良がなされていきました。

また、これらの歴史ある美味しい梨作りの裏では最新技術が生産者を支えています。光の照射による糖度の測定や大きさを瞬時に測定するセンサー装置などです。これらの技術が出荷する梨の品質向上や、仕分け作業の効率化に大きく貢献しています。こうした歴史や技術の伝承と、最新技術を駆使し、はるなの美味しい梨を守り続けている生産者の皆さんには頭が下がります。これからも、一人でも多くの方にはるな梨を食べてもらい、応援し続けてほしいです。

市長へ 令和6年度予算・施策を要望

◎子どもへのインフルエンザワクチン接種費用助成を緊急要望し、今年度は特例で実施へ！

新風会から富岡賢治市長に対し、89項目に及ぶ令和6年度の予算および施策要望書を提出し、意見交換を行いました。

そのほか、インフルエンザが増加傾向にある現状に鑑み、子どもへのインフルエンザワクチン接種の助成を緊急に要望しました。その結果、富岡市長は、満6か月から12歳までの人には、1回上限4000円（1人2回まで）、満13歳から高校3年生相当までの人には1回上限4000円（1人1回まで）の助成方針を決め、次の市議会定例会で補正予算案が提出されることになりました。

これからも市民の声を積極的に市政に反映してもらえるよう、市当局に引き続き働きかけてまいります。

新生児難病検査費・治療交通費の支援が決定

本定例会において、新生児難病検査費と、検査で難病が発見された場合の治療交通費を支援する補正予算（1200万円）が決定しました。この取り組みは県内初。これは新風会が執行部と調整を図りながら進めてきたものであり、前定例会の大河原吉明議員の一般質問において、執行部からは支援実現に向けた方向性が示されていました。

新生児難病検査は、20種類の先天性代謝異常について群馬県の公費負担で実施していますが、それ以外の9疾患を対象とした任意検査は、その費用を保護者が負担する必要がありました。その費用を新生児1人あたり1万円まで市が助成します。難病が発見されても治療できる医療機関や医師が限られるため、通院に必要な交通費も併せて支援します。

交通費の上限は、県内2000円、関東・甲信越2万円、その他3万円とし、年間4回まで。対象は今年10月1日以降に生まれた新生児の保護者。

高崎市手話イベント「ふれよう手話に！楽しもう手話を！」

9月23日、市民活動センター「ソシアス」で、とても楽しい手話イベントが行われました。これは、平成29年4月1日施行の高崎市手話言語条例に基づき、市民に向けた手話の理解及び普及促進を目的として開催されたものです。

出演は、一般社団法人手話エンターテインメント発信団o·i·o·i（オイオイ）の5人組。きこえる人ときこえない人の間にある誤解や偏見などの「心のバリア」を壊すため、啓発的な内容のパフォーマンス活動を行っており、拠点である大阪のお笑いに、クイズやゲームも交えて話を展開。参加者は自然と引き込まれ、気が付いたら会場が一つになり、みんな笑顔で手話をしていました。

聴覚障害者といっても一人一人、聞こえ方、聞こえない状況が違うことや「聞こえない人との意思疎通を避けたり諦めたりしないで」、「伝える気持ちを大切にしてほしい」、「あなたの表情があなたの気持ち」と分かりやすく伝えてくれました。

高崎白衣大観音ブルーライトアップ

同日、「手話言語国際デー」に合わせ、全日本ろうあ連盟が「世界そして日本を青色に！～手話言語をブルーライトで輝かせよう～」と、全国に呼びかけて、約240か所で各都市のシンボルにブルーライトが点灯されました。

本市では、昨年に続き慈眼院様のご厚意により高崎白衣大観音をライトアップしていただきました。

市民の「手話言語」の認知度を促進していくとともに、世界のろう者たちとの連帯を示すことを目的としています。

会派視察報告

8月10日、新風会は神流川発電所（多野郡上野村）、譲原防災センター（多野郡神流町）、藤岡市防災公園（藤岡市神田）の3カ所の視察を行いました。

神流川発電所は上野村を流れる利根川水系神流川の最上部に位置する揚水式発電所で、平成17年に1号機、平成24年に2号機が運転を開始。今後3号機から6号機までが完成し、運転すると世界最大級の揚水式発電所になるとのこと。

譲原防災センターは譲原周辺の地質、三波石の学習を通じ、譲原地区の地すべりに関するメカニズムや歴史・情報、それらへの対策について学ぶことができる施設。資料館隣の集水井工という地滑り対策を行っている地下の排水設備についても見学しました。直径3・5m、深さ10m以上の集水井工を譲原地区に68基設置し、地下水を逃がして地滑りの発生を食い止めています。

藤岡市防災公園は藤岡市神田にある4・1ヘクタールの防災公園で、平時は通常の公園として市民の憩いの場となっており、視察時も親子連れや夏休みの学生が利用していました。

今後も、本市のエネルギー・防災対策に会派としても勉強を重ねていきたい。

高浜クリーンセンター建設工事視察

写真提供：前田建設工業株式会社JV

7月20日、午後2時から高浜クリーンセンターの工事現場を視察しました。現在のセンターは昭和63年に建設されたもので、老朽化に伴い現センターの隣接地に新センターの建設が決定し、令和3年8月に起工式が行われ、令和7年1月の完成を目指しプラント並びに建屋工事が鋭意、進められています。総工費はプラント工事が178億円、建屋工事が220億円で総額398億円、その財源内訳は国からの交付金が35%、起債と基金が55%、一般財源が10%となります。現在、煙突の高さは予定の100mに達し、令和5年度末には工事全体の進捗率は80%になります。

市民経済常任委員会行政視察報告

高崎市議会市民経済常任委員会では7月26日から28日まで、3日間、行政視察を行ってきました。

視察初日は大阪府東大阪市にて中小企業振興条例と中小企業支援について、2日目は兵庫県姫路市にて、スマート市民農園事業とスマート農業推進について、3日目は愛知県豊橋市にて、〝穂の国とよはし電力株式会社〟設立と経過についての視察を行いました。

各市で学んだ施策を高崎市にどう活かせるか検討してまいりたいと思います。

建設水道常任委員会行政視察報告

7月26日から3日間、建設水道常任委員会の行政視察を行いました。

東京都江戸川区において水辺のスポーツガーデンを、岐阜県美濃加茂市においては、かわまちづくりの先進的な取り組みを、三重県四日市市では、市営住宅の活用などについて視察しました。

新風会としても、本市で現在進めているスポーツパークやレストハウスなどの関連事業に対してしっかりと調査研究を重ねて意見具申を行い、市民にとって、より良い事業・サービスになるよう全力で取り組んでまいります。

一般質問

執：執行部答弁　議：議員発言

※以下、質問順で掲載しております。こちらに掲載している内容は、質問と答弁の一部です。全文および録画配信が高崎市議会ホームページにて随時アップされますので、そちらも是非ご覧くださいませ。

録画配信 全文掲載

http://takasaki.gijiroku.com/voices/g07_Shitsumon.asp

後藤 彰

暑さ・紫外線対策について

議 各種イベントにおける熱中症対策について。

執 医師と保健師が常駐する救護所や公共施設を開放した休憩所の設置や、消防団の協力を得て、神輿や山車のルートを中心に暑さをやわらげるための散水を実施。また、消防局の救急救命士による救護隊の会場内巡回パトロールの実施や、日影の少ない場所を中心にミストファンやミストシャワーを設置して温度を低下させる対策も実施。新しい取り組みとして、子ども神輿や山車の各参加団体に看護師に同行する対策を講じた。

議 冷感グッズの使用についての現状。

執 安全に配慮し必要に応じて、児童生徒の使用を認めている学校もある。メール等で保護者に使用について周知している学校もある。

議 小中学校でのサングラスや日傘使用の考えについて。

執 医師の指導助言をもとに児童生徒の健康状況に応じた個別の対応をしていきたいと考えている。日傘についても学校ごとに個別に対応しているが、使用可としている学校もある。

渡辺 幹治

本市のコミュニティ・スクール制度について

議 藤岡市では複数の学校を一つの学校運営協議会でまとめ、地域学校協働活動推進員が置かれているが、このような運営について本市の考えは。

執 コミュニティ・スクールの設置は、状況によって二つ以上の学校で一つの学校運営協議会を置くことも可能だが、基本的には所管する学校ごとに学校運営協議会を設置することが求められている。いずれにしても各学校の実情や特色に応じて各学校の運営協議会を充実させていくことが重要である。

議 本市でも今後コーディネーター的な方の必要性や重要性についてはどのように考えているのか。

執 先行して学校運営協議会を設置した吉井西小学校などは、地域の信頼を得ている方々が中心になって役割を果たし、充実した取り組みをしている例もあり、コーディネーター的な方の必要性や重要性は十分認識している。教育委員会としても各運営協議会の意見を伺いながら、情報提供や情報共有に努めていきたいと考えている。

渡辺 隆宏

若者の地域定着に向けた取り組みについて

議 本市の若者の移住定住に向けた取り組み事例と発信方法は。

執 「中小企業就職奨励金事業」ほか、子育てなんでもセンターの開設やSOSサービス事業の実施、子ども医療費助成の対象を高校生世代にまで拡大するなど、全国でも類をみない子育て支援施策を展開している。情報発信の面では、本市の移住に関するホームページに誘導する画像が表示されるインターネット広告を実施し、これまでに約3千万回表示されている。

議 中小企業就職奨励金の事業概要と運用状況について。

執 中小企業就職奨励金については、市内事業者の人材確保と若者の市内定着を図ることを目的に、市内中小企業に就職した若者に就職奨励金を交付するもの。電子地域通貨である高崎通貨により10万円分を交付している。令和4年度の交付実績は、就職後6か月が経過した10月から申請受付が始まり、3月末までで265人に交付。交付された高崎通貨は、市内の約2600の登録店で幅広く使用されている。

長壁 真樹

高齢者の移動手段確保に向けての取り組みについて

議 高齢者向け買い物支援タクシーチケット交付事業の内容と周知は。

執 近隣に店舗が無く買い物が困難なひとり暮らし高齢者にタクシーチケット500円×26枚（1か月）を配布、周知については区長さんに周知している。

議 おとしよりぐるりんタクシーのルートを奇数、偶数日で見直しを、また通っていない地域には買い物支援タクシーチケット事業を協議体やふれあいサロンの関係者に周知し高齢者の利便性を計って欲しい。

本市のドローンの利活用について

議 活用状況と導入についての考え方は。

執 広報やプロモーション分野、また危険箇所総点検等の防災分野で活用している、ドローンを活用することは防災面を含め有効であるが、高い操縦技術や機材も日々性能も向上していくので専門業者への委託も有効と考える。

議 目視の難しい河川の氾濫や土砂災害の点検、また赤外線センサーの装置による山林火災の残火の確認や野生動物の監視等、汎用は更に高まることから、ドローン活用に向け鋭意研究を進めていただきたい。

大河原 吉明

本市における通級指導教室について

議 本市の通級指導教室の体制と今後の展望は。

執 本市の通級指導教室は、中央教室、中居教室、城山教室、金古教室、下室田教室および堤ヶ岡教室の6教室において、職員43名で、就学前の幼児、小学生、中学生の子ども897名の指導を行い、各教室や家庭の状況に応じて、1人の子どもに対し週1回または隔週で支援を行っている。今後の支援の在り方は、利用状況を注視しながら研究していく。

議 通級指導教室に通う子どもたちへの継続性のある支援とその協力体制は。

執 各通級指導教室では、子ども一人ひとりに対して作成した指導計画に沿って指導を行い、その記録を残しており、担当教員等が変わっても支援が適切に行えるよう、情報の確実な引き継ぎに努めている。また、保護者や関係機関等と情報共有を図ると共に、必要に応じて支援会議を開き、協力体制を確保している。

議 今後も増え続けるニーズに応えるためにも、教室数と教員数の拡充をしてほしい。

青木 和也

こどものインターネット利用について

議 SNSやネットを使ったゲーム等で子どもが事件やトラブルに巻き込まれることがあるが、学校ではどのような対策をしているか。

執 NPO法人による「ネット講習会」や、高崎及び高崎北警察署による「情報モラル講習会」を各学校において実施し、トラブルの未然防止と子どもの情報モラルの向上に努めている。

議 子どもへの注意喚起の取り組みは。

執 SNSトラブル等を自分の問題として捉えられるよう、「高崎市いじめ防止こども会議」等において、ネットいじめやSNSトラブルの未然防止や対処の仕方等について、子どもたちを主体とした協議を行っている。

議 今後の取り組みは。

執 学校において、子どもを対象としたネット講習会や情報モラル講習会を実施するとともに、保護者への啓発を行う。また、各学校の代表が作成した「高崎ルールタブレットバージョン」等を活用し、子どもが自分の問題として捉え、安全に端末を活用できるよう努める。

議 市教育委員会においては、様々な変化に対応して「情報リテラシー」の教育に取り組んでもらいたい。

根岸 赴夫

本市の公園管理について

議 指定管理を行っている公園及び施設はどこなのか。

執 「浜川運動公園」、「上並榎庭球場周辺広場」、「観音山公園プール」の3か所ある。

議 直営管理と愛護会管理の公園の管理状況、また公園愛護制度について聞きたい。

執 市内524か所の公園のうち401か所は町内にある公園として、地域住民の方が維持管理活動を行う公園愛護会を結成していただき、清掃や除草などの美化活動と維持管理を行っていただいている。公園愛護制度の内容については、公園愛護会に除草や清掃などの維持管理を行っていただいており、報奨金を助成している。

議 「まちなか小さな公園美化大作戦5か年計画」の進捗状況について聞きたい。

執 新たに17か所の公園において愛護会が結成されており、愛護会の手の届かない範囲については業者による除草清掃を直営管理の公園も含めて行った。また、老朽化したトイレの改修は年間20か所を予定しており、上半期において10か所の改修を進めている。

高橋 淳

南八幡地区の公共施設整備について

議 烏川2号緑地根小屋エリアの開発経緯は。

執 烏川の築堤計画の推進に併せて、緑と潤いのある快適な水辺空間の整備を図ることを目的に、平成4年に都市計画決定を行い、築堤事業の進歩にあわせて緑地の整備を進めるため、地権者との借地交渉を開始した。

議 阿久津町の市民スポーツパーク（仮称）の工事の進捗状況は。

執 今年度は、阿久津水処理センター側からの進入路整備や場内の基盤整備を引続き進めており、完成したエリアから順次利用を開始する予定である。

議 烏川2号緑地と高崎市民スポーツパークの連携など基本的な考え方は。

執 同エリアの位置関係は、直線距離で約1㎞であり、一体的な活用を図ることで、市民のスポーツ活動の拠点として、さらに充実するものと考えている。

議 南八幡地区では、その外にも水防拠点施設の整備が予定されている。国と県と市のそれぞれ大きな事業が進むが、大規模な公共施設の整備を個別に進めるのではなく、周辺の道路交通状況についてもしっかりご対応いただき、地域全体を面で捉えた開発をお願いする。

「ウエスト・サイド・ストーリー」ワールドツアーより　©JOHAN PERSSON

ブロードウエイ・ミュージカル
「ウエスト・サイド・ストーリー」大盛況
～高崎芸術劇場で７月31日から３日間で計４回上演～

高崎市で初の本場のステージが総勢115名により上演され、連日満席となりました。本市にとっては画期的な３日間であったと思います。そこで、高崎財団 串田千明事業企画担当部長にお話を伺いました。

1 ウエスト・サイド・ストーリーを招致した経緯は

本格的なミュージカル作品の招致は、高崎芸術劇場の開館準備時から目指していました。何より高崎でのオペラやバレエ、ミュージカルの上演は高崎市民にとって長年の悲願でした。

群馬音楽センターは開館以来、全国の音楽ホールの草分けとして、さまざまな音楽や舞台の鑑賞機会を提供してきましたが、現代のエンターテインメントやパフォーマンスの演出や表現に対応できないという課題を抱えるようになりました。

一方で劇場文化に関心の高い高崎市民の要望・期待は大きく、大型舞台公演の招致は主催公演の一大柱として注力してきました。

海外ミュージカルのツアーは国内最大都市での上演にほぼ限られています。そんな中での「高崎芸術劇場」という新しい劇場の知名度、存在感を高める狙いもありました。

外国語での上演に不安もありました。しかし、半世紀以上前に世界的に大ヒットしていて馴染みがあり、ファンを魅了し続けている『ウエスト・サイド・ストーリー』は、この劇場初のブロードウェイ・ミュージカル上演には格好の作品でした。

今回の招聘関係者（主催者のTBSプロデューサー）は2019年開館の当劇場の名を知りませんでした。海外キャストにとっては都市名さえ初耳だったことでしょう。

エンタメ・メディアでは公演PRの際に開催地が紹介されますが、その中で大都市と並び高崎が名を連ねることは、劇場・ホールという枠を超えて知名度アップにつながることは確かです。なお今回は東京、高崎、大阪の３都市のみでの上演でした。

2 いつから準備し、どのようにアプローチしたか

新プロダクションによる『ウエスト・サイド・ストーリー』のワールド・ツアーが計画されているという情報を得たのは2021年のことで、即座に高崎での上演招致に動き出しました。とはいえコロナ禍で通信、交渉は思うように進みません。

招致交渉が急展開し、先行して開催を公表していた東京、大阪に加えて高崎での上演が決定したのは今年の3月末でした。

人気タレントが出演するわけではなく、原語上演のミュージカルを3日間で全4回公演、約7,000席を短期間で売りさばかなければならない。通常であれば1年程度のプロモーション展開を要するレベルです。劇場事業課スタッフ全員で知恵を絞りました。

3 宣伝、広告、集客の取り組みは

全国紙、地元紙など通常の新聞広告に加え、お越しになるお客様の層をイメージして広告を手配しました。１つ例を挙げると、

●JR東日本の車内誌「トランヴェール」7月号裏表紙

『ウエスト・サイド・ストーリー』の上演空白地を狙いました。同誌は東北、北陸新幹線で全座席に常載されます。

4 U-25料金を設定したことの狙いは

この公演に限らず、高崎芸術劇場の主催では25歳以下のお客様を対象にした特別料金の「U−25」チケットを用意しています。若い方たちに高崎での一生の宝物になるようなステージ体験をしてもらいたいという願いからです。
県内の複数の高校の演劇部やミュージカル部で顧問の先生が部員全員に声をかけてくださり、団体で鑑賞にお越しになりました。終演後も紅潮した様子で同志たちと熱く語り合っている光景も見られました。

5 出演者の高崎市に対する印象は

劇場に対してはステージ、楽屋、使いやすさなど高い評価をいただきました。また劇場のみならず高崎の街全体が外国人メンバーに好印象でした。

メンバーは、チケットを買ったという市民から街なかでたびたび声をかけられたそうで、このような経験は日本ではこれまで無い経験とのことです。

高崎には7月23日（日）から宿泊していました。駅周辺の飲食店（居酒屋、パブなど）が好評のほか、榛名湖などに出かけたそう。高チャリは重宝されました。彼らには居心地のよい街のようです。「初めて日本を好きになった」というメンバーがいました。

客席の反応は温かく（初回の中断トラブル時含め）、カンパニー側の配慮により最終回のカーテンコールは高崎オリジナル版で特別にマリアとトニーを登場させてくれました。（写真）その結果、スタンディングオベーションで盛大に幕を下ろしました。

ワールド・ツアーのドイツ人プロデューサーから当劇場に感謝状がメールされました。日本側の招聘会社によるとこれは異例とのことです。

新風会所属議員一覧　～市政に関するご相談はお近くの議員まで～

会長
柴田 和正
しばた かずまさ
高崎市金井淵町259
☎027-343-7161

副会長
石川 徹
いしかわ とおる
高崎市箕郷町東明屋106-1
☎027-371-3344

幹事長
白石 隆夫
しらいし たかお
高崎市石原町4049
☎090-3234-0748

副幹事長
樋口 哲郎
ひぐち てつろう
高崎市吉井町馬庭827-1
☎090-3245-0195

政調会長
根岸 赴夫
ねぎし ゆきお
高崎市上中居町407-5
☎027-326-0635

議会対策委員長
後藤 彰
ごとう あきら
高崎市乗附町1563-27
☎027-328-5100

会計
大河原 吉明
おおかわら よしあき
高崎市京目町1634-6
☎090-9385-8680

広報
松本 賢一
まつもと けんいち
高崎市新町1652-5
☎090-6033-8421

会計監査
後閑 賢二
ごかん けんじ
高崎市塚田町222-2
☎027-373-2214

顧問
丸山 和久
まるやま かずひさ
高崎市江木町1111-1
☎027-323-8855

柄沢 高男
からさわ たかお
高崎市上里見町197
☎027-374-4304

渡辺 幹治
わたなべ かんじ
高崎市倉賀野町1684
☎027-346-6133

長壁 真樹
おさかべ しんじ
高崎市中室田町甲525
☎027-374-3384

高崎市議会副議長
大竹 隆一
おおたけ りゅういち
高崎市吉井町片山895-2
☎027-387-4390

青柳 隆
あおやぎ たかし
高崎市箕郷町下芝594-1
☎027-371-2870

高崎市議会議長
時田 裕之
ときた ひろゆき
高崎市浜川町
☎090-4948-4450

青木 和也
あおき かずや
高崎市福島町740-7
☎090-5442-8248

渡辺 隆宏
わたなべ たかひろ
高崎市下斉田町
☎070-3784-9871

高橋 淳
たかはし じゅん
高崎市山名町492-1
☎090-9019-7800

高崎市議会 新風会
〒370-8501
群馬県高崎市高松町35番地1
新風会ホームページ
http://www.shinpukai.com/